

## 平成27年度 第4回八代市地域公共交通会議 (モビリティ・マネジメント推進事業業務委託 の進捗状況報告)

- |                      |       |
|----------------------|-------|
| 1. モビリティ・マネジメントとは    | p.2~  |
| 2. 本年度の取り組みの位置付け     | p.5~  |
| 3. 企業モビリティ・マネジメントの概要 | p.8~  |
| 4. 学校モビリティ・マネジメントの概要 | p.18~ |

平成28年1月27日(水)

## 1. モビリティ・マネジメントとは

## ①モビリティ・マネジメントの定義と必要性

### 平成26年度市民アンケート調査結果

公共交通を利用しない理由として、「そもそも公共交通を利用しようと考えたことがない」という回答が多数見られることから、公共交通の利用を促す働きかけを行うことで、**移動手段の選択肢として認識していただき、利用してみようという意識を醸成していくことが重要。**

自動車に過度に依存するライフスタイルを見直し、**自動車を「かしこく」使っていただくため、個人や職場組織等を対象としたモビリティ・マネジメント※を実施し、公共交通の利用に対する意識啓発を図る。**

※モビリティ・マネジメントとは、一人ひとりのモビリティ（移動）が、社会的にも個人的にも望ましい方向に自発的に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通施策  
（「モビリティ・マネジメントの手引き」土木学会）

3

## ②地域公共交通網形成計画での位置付け

### ①分かりやすい情報提供

○路線バス等の詳細な運行ルートや、乗り継ぎ利用なども含めた総合時刻表などを記載した「公共交通マップ」の作成（下記②の施策にも活用）  
※形成計画p.89「積極的な広報・分かりやすい情報提供や利用の“きっかけ”づくりの実施」の一部

### ②モビリティ・マネジメントの実施

○モビリティ・マネジメント（以下、「MM」）施策のうち、「学校MM」「企業MM」について、まずは一部の高等学校・企業を対象として先行的に実施（“動機づけ冊子”の作成含む）  
※形成計画p.91「モビリティ・マネジメント施策」の一部

| 区分         | 対象     | 概要   | 本年度取り組むMM施策 |
|------------|--------|--|-------------|
| 学校MM       | 生徒・学生  | ○市内に立地する高校・短大等の生徒・学生を対象に、入学時に情報提供や働きかけを実施し、通学をはじめとする日常の移動に公共交通を利用する意識を醸成（エコ通学）   |             |
| 企業MM（通勤MM） | 就労者・企業 | ○市内に立地する企業や、当該企業の就労者を対象に、情報提供や働きかけを実施し、通勤時や業務時の自動車利用を抑制する意識を醸成（エコ通勤）             |             |
| 居住者MM      | 居住者    | ○主として公共交通の大幅な見直しや、新たな公共交通サービスを導入するエリアの居住者を対象に、情報提供や働きかけを実施し、日常の移動に公共交通を利用する意識を醸成 |             |
| 転入者MM      | 転入者    | ○市外から市内に新たに転入してくる市民を対象に、情報提供や働きかけを実施し、自動車に過度に依存しないライフスタイルの構築を促進                  |             |

4

## 2. 本年度の取り組みの位置付け

5

### ①本年度の取り組みの目的

#### MMの課題

- MMは、対象者とのコミュニケーションを綿密に実施することにより、高い効果が期待される。対象者の範囲も広いほど、効果は大きくなることが期待される。
- しかし、大規模に、または、より綿密にコミュニケーションを図る取り組みには費用も、労力も嵩むため、**効率的・効果的な取り組み方を探る必要がある。**

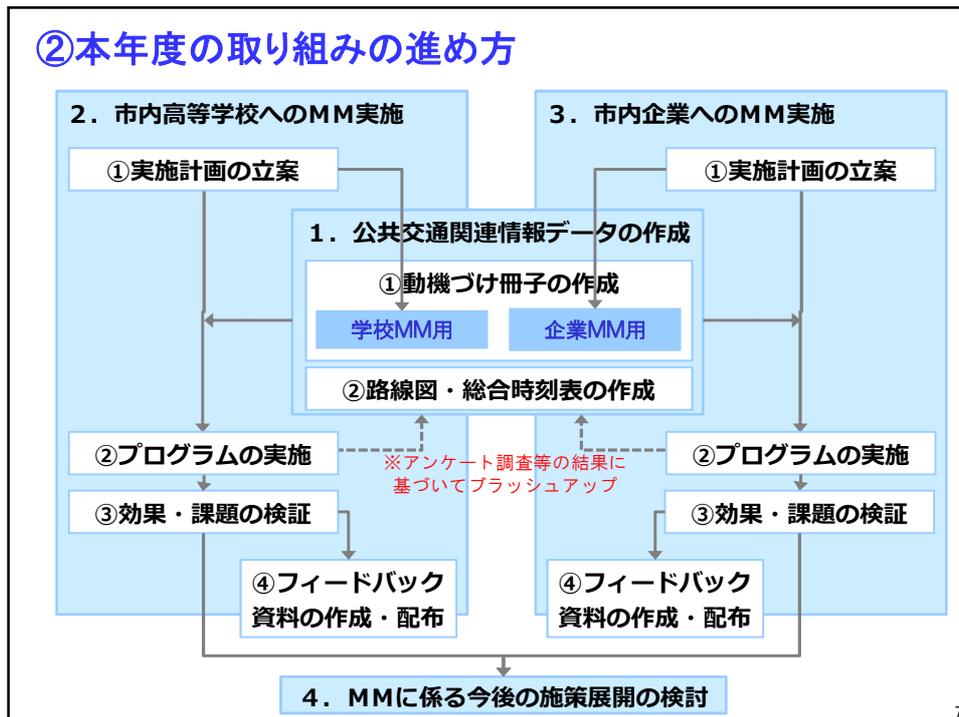
#### 本年度の取り組みの目的

今後のMMの展開を念頭に、**先行的に一部の高校や企業を対象としたモデルスタディを実施し、MM施策の効果や課題を検証する。**

(どういった属性を持つ人に効果があるのか、どういったツールが効果的なのか、持続可能な取り組み方等を探る)

6

## ②本年度の取り組みの進め方



7

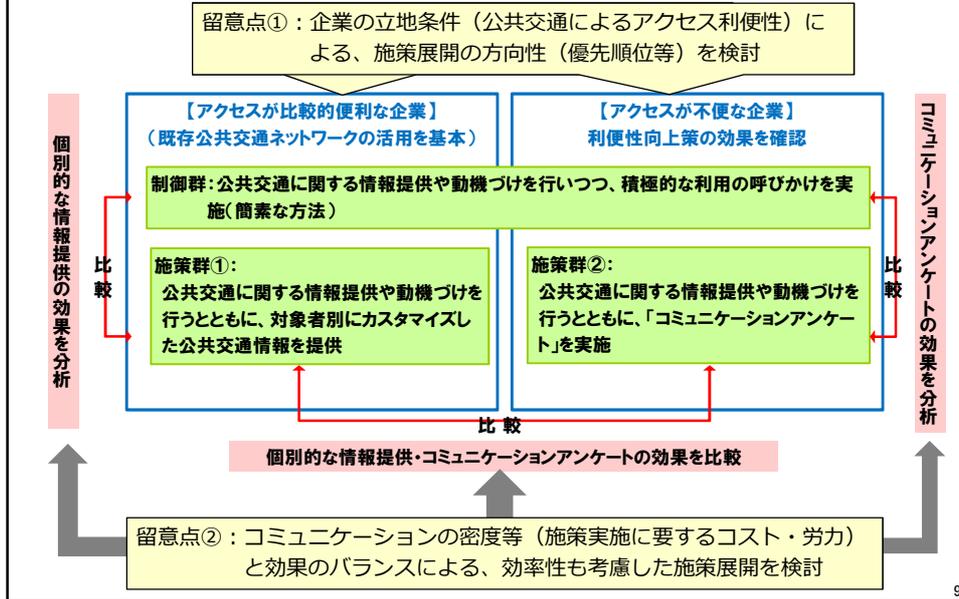
## 3. 企業モビリティ・マネジメントの概要

- 1)プログラム概要
- 2)実施スケジュール
- 3)MMツール

8

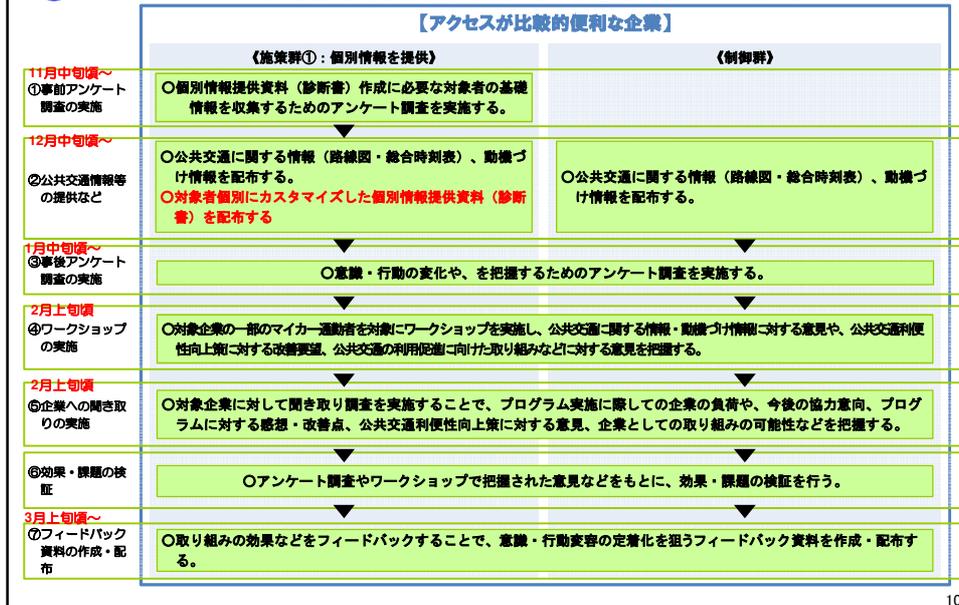
# 1) プログラム概要

## ① 企業MMの構成と実施上の留意点



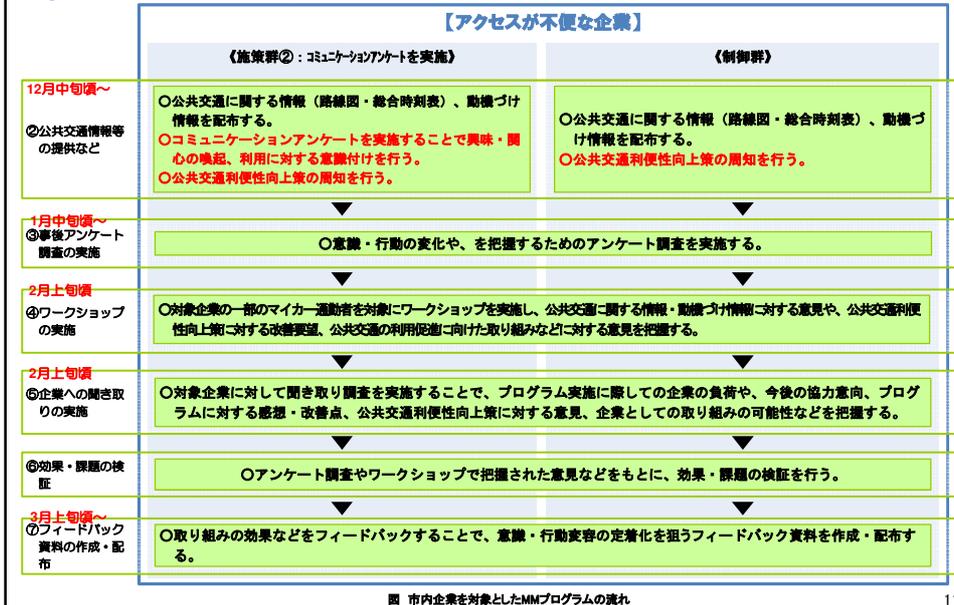
# 2) 実施スケジュール

## ① アクセスが比較的便利な企業に対するプログラム



## 2) 実施スケジュール

### ② アクセスが不便な企業に対するプログラム

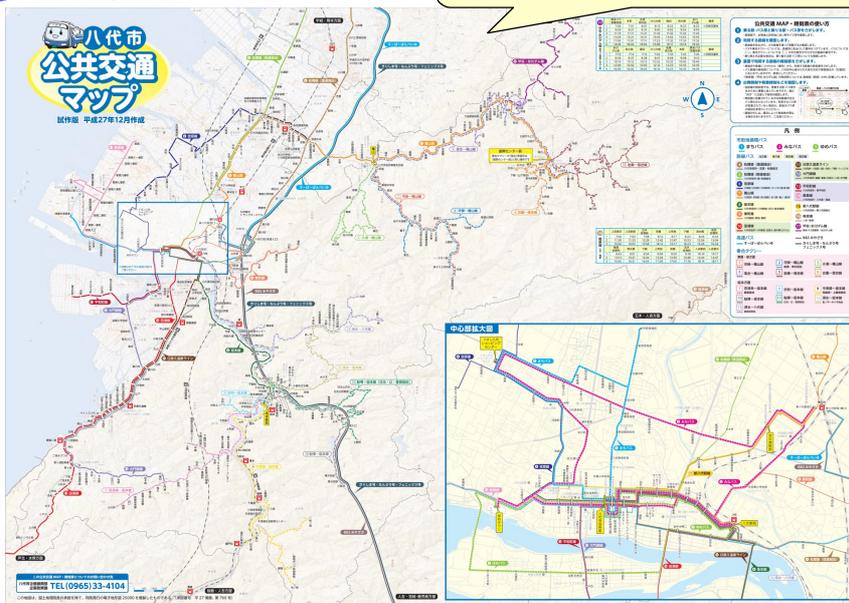


11

## 3) 企業MMツール

### ① 八代市公共交通マップ

市内を運行する新幹線・鉄道・路線バス・乗合タクシー・高速バスの路線図を掲載



12

## ①八代市公共交通マップ

市内を運行する新幹線・鉄道・路線バス・乗合タクシー・高速バスの時刻表を掲載

The image displays a comprehensive set of public transport timetables for Yatsushiro City. It includes:

- 市街地循環バス (City Loop Bus):** Timetables for routes within the city center.
- 路線バス (Route Bus):** Multiple tables for various bus routes connecting different parts of the city and surrounding areas.
- 鉄道 (在来線) (Railway (Conventional Line)):** Timetables for the JR Kyushu lines passing through the city.
- 乗合タクシー (Shared Taxi):** Schedules for shared taxi services.
- 九州新幹線 (Kyushu Shinkansen):** High-speed rail timetables.
- 高速バス (High-Speed Bus):** Timetables for long-distance bus services.

13

## ②企業用動機付け冊子「公共交通のすすめ」

**公共交通のすすめ**

八代市

クルマはとても便利で、快適な乗り物です。でも、「クルマばかりの生活」には、困ったことも少なくありません。このパンフレットを読んで、「クルマとバス・電車を使い分ける生活」を、じっくり考えてみてはいかがでしょうか？

八代市 YATSUSHIRO

クルマと公共交通を比較して、クルマの過度な利用が及ぼす様々な影響を提示し、クルマを“かしこく”利用してもらうことを考えてもらう冊子

### 記載内容

- ▶クルマ利用と「健康」
- ▶クルマ利用と「交通事故」
- ▶クルマ利用と「お金」
- ▶クルマ利用と「子どもの友達の人数」
- ▶クルマ利用と「環境」
- ▶公共交通の現状
- ▶バスの乗り方・降り方

14

### ③アクセスが比較的便利な企業の施策群に対する個別情報「公共交通を使った通勤プラン」

#### 公共交通を使った通勤プラン

先月、「通勤に関するアンケート（事前調査）」にご協力いただき、誠にありがとうございました。

利用した通勤プランをご提案いたします。公共交通のすすめも参考に、公共交通を利用した場合の健康やコストを提示させていただきます。

～公共交通を使った通勤プラン～

※帰宅方法については、お配りした「八代市公共交通マップ」でぜひ調べてみてください。また、帰宅時に利用できるバスがないといった方も、早く帰宅できる日などに利用してみてください。

#### 公共交通を利用した場合の効果を提示

**消費カロリーの増加**

1週間あたりの消費カロリーの比較

|      |           |                |
|------|-----------|----------------|
| 1 徒歩 | 約 380kcal | これまでより多く消費されます |
| 2 バス | 約 147分    | 行ったことになりません    |

**通勤にかかる費用の節約**

年間の通勤にかかる費用が、この行動を1年間継続すると

|        |         |         |
|--------|---------|---------|
| 約 40万円 | 約 200万円 | 節約されます* |
|--------|---------|---------|

**移動による二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量の削減**

1週間あたりのCO<sub>2</sub>の排出量が、この行動を1年間継続すると

|                         |       |        |
|-------------------------|-------|--------|
| 約 2.7kg-CO <sub>2</sub> | 約 58本 | 削減されます |
|-------------------------|-------|--------|

公共交通安全を利用することで、運動不足が少し解消されたり、お金が節約できたり、環境にもやさしい行動ができます。今できる範囲でかまいませんので、「公共交通を利用した通勤」に取組んでみませんか？

(注1) 軽いジョギングの時間は、体重60kgの方を想定して算出しています。軽いジョギング1分あたり2.5kcalを消費します。  
(注2) 歩数：10,000歩の歩数による車道横断歩道中自動車横断、横断、オフロード、通勤先周辺の駐車場代、通勤にかかる車道横断歩道中自動車横断歩道中歩数分を算出しています。  
(注3) 樹木の数は、40年生前後の木を基準としています。樹木1本で年間約2.4kg-CO<sub>2</sub>の二酸化炭素を吸収します。

※大企業申し訳ございませんが、算出できない方は一とさせていただきます。

【本資料に関するお問い合わせ】  
八代市地域公共交通会議(事務局：八代市企画政策課 担当：藤原・森西)  
TEL:0965)33-4104 FAX:0965)32-9944

### ③アクセスが比較的便利な企業の施策群に対する個別情報「公共交通を使った通勤プラン」

回答票数 (366名) ※氏名・所属不明者除く

マイカー通勤? Yes 279名 / No 87名 (対象外)

交通ネットワーク上公共交通で通勤が可能? Yes 181名 / No 98名 (制御群)

出勤に間に合う便がある? Yes 111名 / No 62名 (制御群)

帰宅に使える便がある? Yes 49名 (施策群) / No 62名 (制御群)

※他に出勤時刻不明25名が存在

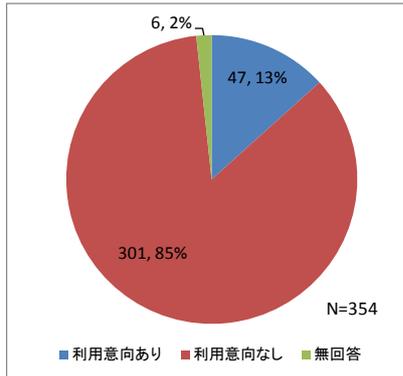
※他に乗り継ぎ時間が短い・長い14名が存在

マイカー通勤者の約65%がネットワーク上、公共交通を利用できる環境にあるが、実際に出勤に利用できる便があるのは、マイカー通勤者の約18%となっている。

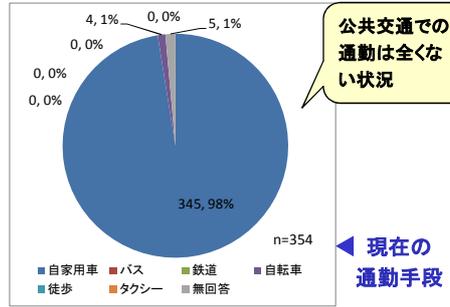
ネットワークは確保されていても、実際に使える便は限られていることが新たな課題として浮き彫りになった。

#### ④アクセスが不便な企業の公共交通利便性向上策

- 通勤時間帯に運行する“通勤シャトルバス”の運行を実験的に運行
- “通勤シャトルバス”の利用意向、具体的なルート・ダイヤ検討材料を把握するため、アンケートを実施したところ、回答者の約13%が利用意向を示している。

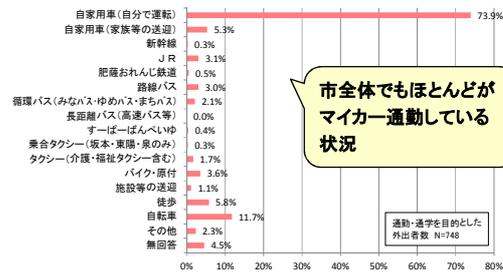


▲シャトルバスの利用意向



公共交通での通勤は全くない状況

現在の通勤手段



市全体でもほとんどがマイカー通勤している状況

▲通勤・通学時の移動手段: H26市民アンケート結果

## 4. 学校モビリティ・マネジメントの概要

- 1) プログラム概要
- 2) 実施スケジュール
- 3) MMツール

## 1) プログラム概要

### ① 学校MM実施に向けた留意点

**留意点①**：効果的・効率的な学校MMの推進に向けては、**継続的に取り組みを実施**していくことや、より多くの学生・生徒を幅広く**アプローチ**していくことが重要であり、「コスト」や「労力」、**学校側の負担の抑制**などを念頭に、資料の配布にあわせて**簡単なアンケート調査を実施**するなどの簡易的な方法を考えていく必要がある。

**留意点②**：「学校MM」では、まずは通学手段として公共交通などを選択肢として考えてもらうことが目的の一つとなることから、**通学手段を選択する“入学時”にアプローチ**することを考える必要がある。

**留意点③**：「学校MM」では自分ではマイカーを運転しない生徒・学生が主なターゲットとなるため、**他のMMと比べて対象者の特性が大きく異なり**、提供すべき「動機づけ」につながる情報も違ってくるものと考えられることから、「学校MM」に**特化した情報提供**を考える必要がある。

**留意点④**：将来的な過度にマイカーに依存しないライフスタイルの構築などの中長期的な効果を高めていくため、**公共交通を実際に利用してみる“きっかけ”を提供**することで、公共交通を利用する意識の醸成を考えていくことが望ましい。

19

## 2) 実施スケジュール

### ※学校との調整

- 取り組みの趣旨や協力いただきたい内容・実施時期などを説明した上で、協力の可否を確認する。
- 対象とする学年・クラスなどの選定をお願いし、対象者数を確定する。
- ワークショップ実施の可否を確認し、協力いただける場合は対象者の選定を依頼する。

1月中旬頃～

### ①ワンショットTFPの実施

- 公共交通に関する情報（路線図・総合時刻表）、動機づけ情報、「市街地循環バス回数券」を配布する。
  - 簡単なアンケート調査（コミュニケーションアンケート）を実施することで興味・関心の喚起、利用に対する意識付けを行う。
- ※対象学年・クラスに先生から配布していただくことを想定  
※アンケート調査については、学校の負担抑制を念頭に郵送で回収

2月上旬頃

### ②ワークショップの実施

- 対象校（学年・クラス）の一部の生徒を対象にワークショップを実施し、公共交通に関する情報・動機づけ情報に対する意見や、公共交通の利用促進に向けた取り組みなどに対する意見を把握する。

2月上旬頃

### ③学校への聞き取りの実施

- 対象校に対して聞き取りを実施することで、プログラム実施に際しての学校の負担や、今後の協力意向、プログラムに対する感想・改善点などを把握する。

### ④効果・課題の検証

- アンケート調査結果やワークショップで把握された意見などをもとに、効果・課題の検証を行う。

3月上旬頃

### ⑤フィードバック資料の作成・配布

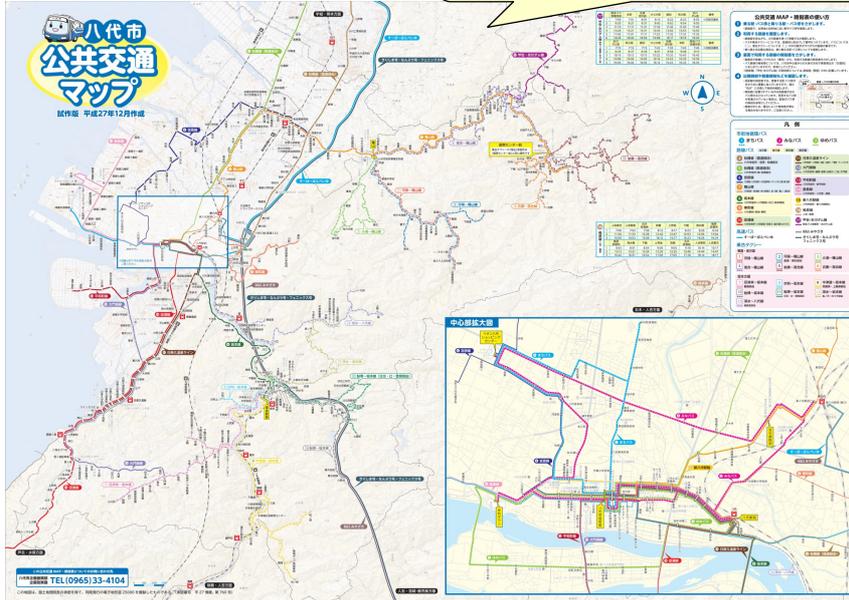
- 取り組みの効果などをフィードバックすることで、意識・行動変容の定着化を狙うフィードバック資料を作成・配布する。
- ※対象学年・クラスに先生から配布していただくことを想定

20

### 3) 学校MMツール

#### ① 八代市公共交通マップ

市内を運行する新幹線・鉄道・路線バス・乗合タクシー・高速バスの路線図を掲載

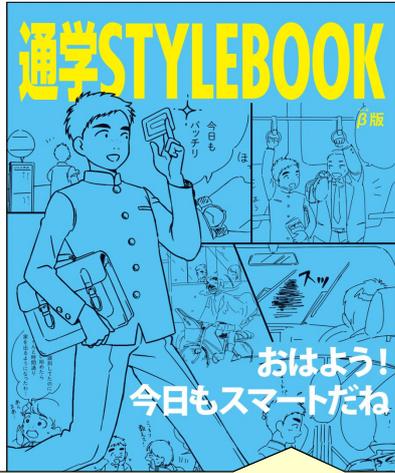


#### ① 八代市公共交通マップ

市内を運行する新幹線・鉄道・路線バス・乗合タクシー・高速バスの時刻表を掲載

| 市街地循環バス   | 路線バス | 乗合タクシー | 高速バス |     |   |    |    |     |     |   |        |    |     |     |  |       |    |     |     |
|---|------|--------|------|-----|---|----|----|-----|-----|---|--------|----|-----|-----|--|-------|----|-----|-----|
| <table border="1"> <tr><th>路線</th><th>時刻</th></tr> <tr><td>...</td><td>...</td></tr> </table> | 路線   | 時刻     | ...  | ... | <table border="1"> <tr><th>路線</th><th>時刻</th></tr> <tr><td>...</td><td>...</td></tr> </table> | 路線 | 時刻 | ... | ... | <table border="1"> <tr><th>乗合タクシー</th><th>時刻</th></tr> <tr><td>...</td><td>...</td></tr> </table> | 乗合タクシー | 時刻 | ... | ... | <table border="1"> <tr><th>九州新幹線</th><th>時刻</th></tr> <tr><td>...</td><td>...</td></tr> </table> | 九州新幹線 | 時刻 | ... | ... |
| 路線  | 時刻   |        |      |     |   |    |    |     |     |   |        |    |     |     |  |       |    |     |     |
| ...   | ...  |        |      |     |   |    |    |     |     |   |        |    |     |     |  |       |    |     |     |
| 路線  | 時刻   |        |      |     |   |    |    |     |     |   |        |    |     |     |  |       |    |     |     |
| ...   | ...  |        |      |     |   |    |    |     |     |   |        |    |     |     |  |       |    |     |     |
| 乗合タクシー  | 時刻   |        |      |     |   |    |    |     |     |   |        |    |     |     |  |       |    |     |     |
| ...   | ...  |        |      |     |   |    |    |     |     |   |        |    |     |     |  |       |    |     |     |
| 九州新幹線   | 時刻   |        |      |     |   |    |    |     |     |   |        |    |     |     |  |       |    |     |     |
| ...   | ...  |        |      |     |   |    |    |     |     |   |        |    |     |     |  |       |    |     |     |

## ②学校用動機付け冊子「通学STYLEBOOK」



高校生に対して、どんなメリットに訴えかけるのが有効かを把握する。何度も手に取って読んでもらうために、読みやすい冊子を作成

### 日常生活からのアプローチ:個人的メリットへの訴求

|               |  |
|---------------|--|
| 規則正しい生活       | バスや電車の時間に合わせて自分の生活をすると規則正しい生活を送れる  |
| 通学時間の使い方      | 通学時間を趣味の読書やテストの勉強などの時間に充てられる   |
| 友達とのコミュニケーション | 自転車通学に比べて、ゆったりと友達とおしゃべりが楽しめる。人との出会いもある。                                    |
| 快適な通学         | 重い教科書や部活道具があっても楽に通学できる。雨の日はかっぱでベトベトになることもなく、快適に通学できる。暑い日や寒い日も体調を崩さずに通学できる。 |
| 安全な通学         | 自転車よりもずっと安全。特に、雨の日はドライバーの視界も悪く、自転車は危ない                                     |
| 社会マナー         | 席の譲り合いや、乗車マナーなど社会人としてのマナーが身につく。思いやりをもったやさしい人になる                            |
| 大都市での生活への準備   | 進学や就職を機にした、公共交通での移動がメインとなる大都市での生活に向けての心構えができる                              |

### 社会問題からのアプローチ:社会的メリットへの訴求

|            |   |
|------------|---|
| 環境問題に対する啓発 | CO2などの温室効果ガスの排出が少ない公共交通を利用することで、環境問題に対する意識を醸成する             |
| 公共交通への貢献   | 利用できる時に公共交通を利用することで、いざ必要になったときの移動手段や、高齢者などの移動手段を維持することに貢献する |

### バスの利用方法の周知

|        |                                     |
|--------|-------------------------------------|
| バスの乗り方 | バスの乗り方・降り方、行き先方向の見方、運賃表の見方を習得してもらう。 |
|--------|-------------------------------------|

## ③市街地循環バス「無料お試し券」

公共交通を利用する“きっかけ”を持ってもらうことを目的に、市街地循環バスの「無料お試し券」を発行。

八代市モビリティ・マネジメント推進事業  
市街地循環バス  
無料お試し券

有効期限：平成 28 年 1 月 18 日  
～平成 28 年 1 月 31 日

No. [ ] 八代市地域公共交通会議

8668790

八代市企画政策課  
八代市 松江城町 一 一 二十五

無料お試し券

中学生・高校生のみならずへ

公共交通の利用などに関するアンケート調査

公共交通利用促進策として、バス利用促進のための公共交通利用のアンケート調査を実施しています。アンケートを通じて、公共交通利用促進策に関するアンケート調査を実施し、その結果を公表しています。アンケート調査の結果は「通学STYLEBOOK」に掲載させていただきます。

調査にあたって

- 調査対象は、「通学STYLEBOOK」に掲載させていただきます。
- Q1は、必ず「通学STYLEBOOK」を参照して回答してください。
- Q2は、必ず「市街地循環バス」を利用して回答してください。
- Q3は、必ず「市街地循環バス」を利用して回答してください。
- Q4は、必ず「市街地循環バス」を利用して回答してください。
- Q5は、必ず「市街地循環バス」を利用して回答してください。
- Q6は、必ず「市街地循環バス」を利用して回答してください。
- Q7は、必ず「市街地循環バス」を利用して回答してください。
- Q8は、必ず「市街地循環バス」を利用して回答してください。
- Q9は、必ず「市街地循環バス」を利用して回答してください。
- Q10は、必ず「市街地循環バス」を利用して回答してください。
- Q11は、必ず「市街地循環バス」を利用して回答してください。
- Q12は、必ず「市街地循環バス」を利用して回答してください。
- Q13は、必ず「市街地循環バス」を利用して回答してください。
- Q14は、必ず「市街地循環バス」を利用して回答してください。
- Q15は、必ず「市街地循環バス」を利用して回答してください。
- Q16は、必ず「市街地循環バス」を利用して回答してください。
- Q17は、必ず「市街地循環バス」を利用して回答してください。
- Q18は、必ず「市街地循環バス」を利用して回答してください。
- Q19は、必ず「市街地循環バス」を利用して回答してください。
- Q20は、必ず「市街地循環バス」を利用して回答してください。

無料お試し券について

無料お試し券は、市街地循環バス「市街地循環バス」を利用して回答してください。有効期限は、平成28年1月18日から平成28年1月31日までです。有効期限が満了した後は、再度発行できません。

お問い合わせ先

八代市企画政策課  
〒972-8001 八代市 松江城町 一 一 二十五  
TEL: 0975-22-1111  
FAX: 0975-22-1112  
E-MAIL: info@yokkaichi.jp